

校長通信

ぽかぽか便り No.2

天理市立井戸堂小学校

令和4年4月26日

文責 阪本 真紀子

通信タイトル決定!「ぽかぽか便り」



先日、6年生の男の子3人が校長室をのぞいてくれました。前回の校長通信に「タイトル考え中」と記しておいたのですが、それを受け、早速タイトル案を持ってきてくれました。校長室前のボードに挟んであった校長通信を指さしながら、「ここに『やさしさで、ほっこりぽかぽかに』って書いてあるから、『ぽかぽか便り』はどうですか?」とのこと。「『ぽかぽか便り』かあ。いいね。採用!」と即決しました。

みんなの心がちょっとでもぽかぽかになるように、ぼちぼち発信していきます。



井戸堂小学校の自慢やいい所は?

まずは子どもたちからこの学校の自慢やいい所を聞いてみたいと思い、ちょっと声をかけてみました。「遊具が楽しいよ」と教えてくれる子がいました。「やさしい」「笑顔がいっぱい」「おもしろい」「明るい」「注意したり教え合ったりする」「目標をもっている」「助け合う」「字がうまい」「元気いっぱい」など、すてきな言葉も次々と出てきました。すごいなあと思いました。それとともに、これは、子どもたちの『願い』でもあるように聞こえました。

毎日いろいろなことがあります。そうそううまくいくことばかりではありません。悩みや不安、心配事の全くない子どもはいるでしょうか。「大丈夫」と言っている、本当に大丈夫なのでしょう。一見うまくいっているように見えるときこそ、しんどい思いを抱えている子、つらい思いをしている子に気づくアンテナを持っていたいと思います。子どもや保護者としてしっかり向き合いつながら、しんどいことを話してもらえような教師集団でありたいです。

朝から北門でぽかぽか

朝、北門で立哨をして子どもたちを迎えています。東からも西からもやって来ます。通用門は狭く、2列に並んでちょうどいいぐらいです。両方から同時に来たらどうしたらよいのでしょうか。我先にとぐちゃっと入っていくのでしょうか。すると、先日本当に同じタイミングで両方からやって来ました。さて、どうなつたでしょうか?

気づいた班長さん、両者とも歩くスピードを落とします。なんとお互いに相手側を意識して譲り合うようなそぶり。一方の班長さんが後ろの子どもたちを手前で止めました。もう一方の班長さんは、それを見て急ぎ足で素早く入っていきます。続いて後ろの子たちも急いで門を通過していきます。どちらも相手のことを考え判断して行動しています。不満気な子どもはいません。それを見ていて、なんだか朝から心がぽかぽかになりました。ありがとう。う〜ん、どっちもステキ!

